

平成 21 年 4 月 22 日

都道府県カヌー協会 会長 殿

(社)日本カヌー連盟
専務理事 成田 昌憲

カヌースラローム競技規則変更に伴う 2009年度の試合方式について

カヌースラローム競技のルール見直しに伴い今年度開催予定の連盟主催競技会の試合方式を強化、普及の両面から下記の通りとします。

記

1. ジャパンカップ（全国Jr大会含む）
2漕1採方式とし、2本漕いでその良い方の成績で順位付けをする。
これはIFのルールにも準じ、普及の観点、競技時間等を総合的に考慮した。
2. シニア日本選手権大会
2日日程とし、初日は予選とし2漕1採方式とする。2日目は準決勝、決勝を1本ずつ行う。夫々の勝ち上がり数は参加艇数を考慮したものにする(大会要綱で定める)。但し勝ち上がり数決定に際しては、予選の成績に加え、Japan-Cupのランキングの成績を加味したものとする。
今年の矢作では初日にJapan-Cupの最終戦を行うが、これを日本選手権大会予選をかねたものとして実施する。
ジュニア日本選手権は2漕1採方式で順位を決める。
3. 国民体育大会
予選を2漕1採方式とし、その成績により上位10名にて決勝1本で実施する。
4. 国体リハーサル大会
リハーサルは本国体に準じて行うことが望ましいが、日程的な諸事情等があるため、国体委員会に一任する。
千葉のリハーサルは国体委員会と協議した結果、2漕1採方式とする。
5. 国体ブロック予選
参加者数は県代表数であり、4-5名と言う事より、他の試合を兼ねた開催が予想されることより、開催ブロックの判断に任せる。

以上